

令和5年度第1回 静岡市競輪運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和5年6月5日(月) 11時~12時
- 2 場 所 静岡競輪場 メインスタンド4階会議室
- 3 出席者 (委員)市川委員、加藤委員、宮澤委員、  
望月委員、大村委員、松谷委員、  
佐藤委員、遠藤委員、鈴木委員、  
大石委員、三浦委員  
(事務局) 突田次長、杉山参事、中西次長補佐、別府主査
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 題
  - (1) 委員の委嘱について
  - (2) 委員長の選出について
  - (3) 委員長代理の指名について
  - (4) 令和4年度事業報告及び決算見込について
  - (5) 令和5年度事業計画について
  - (6) 静岡市競輪事業中期経営計画について
  - (7) その他

## 6 会議内容

### 中西補佐：

本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から、「令和5年度第1回静岡市競輪運営協議会」を開会いたします。

はじめに、お配りした資料の確認をお願いします。次第、名簿、席次表、資料1（令和4年度事業報告）、資料2（令和4年度競輪事業会計決算見込）、参考資料1（令和5年度事業計画）、参考資料2（令和5年度当初予算資料）、静岡市競輪事業中期経営計画となっております。また、通行証もお配りしております。

資料の不足はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、ただ今から、「令和5年度第1回静岡市競輪運営協議会」を開会いたします。次第に従い進行いたします。

次第1「委員の委嘱について」です。本来であれば、市長がお一人お一人に委嘱状を交付するところでございますが、既にお手元にお配りさせていただいておりますので、恐れ入りますが、交付に代えさせていただきますと思います。

次に次第2「委員長の選出について」です。静岡市自転車競走実施条例第7条第5項で、「委員長は、委員のうちから市長が委嘱し、または任命する。」とありますが、慣例により、議会推薦の委員の方の中からどなたか推薦いただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

### 大村委員：

自民党会派から遠藤委員を委員長に推薦します。

### 中西補佐：

ありがとうございます。只今遠藤委員を推薦する意見がありましたが、皆さま、よろしいでしょうか。

### 委員一同：

＜ 異議なし ＞

### 中西補佐：

ありがとうございます。それでは、遠藤委員に委員長をお願いいたします。

静岡市自転車競走実施条例第7条第7項で、「委員長は、協議会の会議の議長となる。」とありますので、議長席にお進みいただき、ご挨拶をお願いいたします。

### 遠藤委員長：

委員長にご指名いただきありがとうございます。それでは令和5年度第1回静岡市競輪運営協議会を行います。よろしくをお願いいたします。

### 中西補佐：

ありがとうございました。

次に、次第3「委員長代理の指名について」です。

静岡市自転車競走実施条例第7条第8項の規定に基づき、委員長があらかじめ指名する委員となります。

遠藤委員長から委員長代理の指名をお願いいたします。

**遠藤委員長：**

「加藤」委員を「委員長代理」に指名します。

**中西補佐：**

委員長代理は、加藤委員に決まりました。「加藤委員長代理」一言ご挨拶をお願いします。

**加藤委員長代理：**

ただいまご指名いただきました。委員長代理ということで、しっかり委員長を支えて、静岡競輪場の発展に努めてまいりたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

**中西補佐：**

ありがとうございました。

それでは、これより静岡市自転車競走実施条例第7条第7項により、委員長に議事・進行をお願いいたします。

**遠藤委員長：**

それでは、次第に従いまして進行いたします。

次第4「令和4年度事業報告及び決算見込について」を事務局から説明をお願いします。

**突田次長：**

資料1（令和4年度事業報告）及び資料2（令和4年度競輪事業会計決算見込）について説明

**遠藤委員長：**

事務局の説明に対し、質問・意見等ありますか。

質問・意見等も無いようです。続きまして、次第5「令和5年度事業計画について」事務局から説明をお願いします。

**突田次長：**

次第5「令和5年度事業計画について」説明

**遠藤委員長：**

事務局の説明に対し、質問・意見等ありますか。

**松谷委員：**

令和3年度決算で競輪事業収入が297億円に対して開催費支出が279億円、令和5年度も同じくらいの競輪事業収入であるが、開催費支出が令和3年度に比べて増加しているのは開催の仕方に違いがあるのでしょうか。

それから、ガールズ競輪が注目されているようですが、令和5年度に何か計画はあるのでしょうか。

**突田次長：**

開催費支出についてですが、まず車券の売上が増えると、売上に連動して払戻金や委託料など経費も増額します。令和6年2月から令和6年10月までバンク改修工事に入るため、その期間本場開催ができなくなります。その分を令和5年度に振り替えて開催するため、令和5年度の売上は増え、その売上に連動して開催費支出も増えることとなります。令和5年度は予算ベースのため、令和3年度決算ベースと比較し

て、歳入が同じ程度でも歳出が多くなっています。

またガールズ競輪についてですが、静岡競輪場も開催を希望しますが、中央団体の割り振りによって、開催の可否が決まってしまう。

**松谷委員：**

ガールズ競輪も結構人気があるとの印象でいるが、今の話だと簡単に開催ができるということではないとはわかりました。

**三浦委員：**

今年度からオールガールズクラシックというGIレースが開催されることとなって、こちらも開催を希望したのですが、選定されませんでした。事務局から説明があったとおり、通常開催もガールズ競輪の開催を希望していきませんが、あとは中央団体の割り振りになります。

**松谷委員：**

選定されるためにどのような努力、苦勞をされているのですか。

**三浦委員**

開催希望のある場合は申請書を提出します。その開催をどのように盛り上げていくのか、競輪場の施設面はどのように整っているのかなど、申請書に記載して静岡競輪場のアピールをしています。

**遠藤委員長：**

そのほかに質問・意見等ありますか。

**市川委員：**

ここのバンクを静岡市以外の自治体を使って、競輪を開催することはあるのですか。

**突田次長：**

現在はありません。過去には旧清水市が主催で開催していたことはあります。

**市川委員：**

その場合は使用料をとるとい形になるのですね。

**突田次長：**

そのとおりです。

**遠藤委員長：**

そのほかに質問・意見等ありますか。

質問・意見等も無いようです。続きまして、次第6「静岡市競輪事業中期経営計画について」を事務局から説明をお願いします。

**突田次長：**

次第6「静岡市競輪事業中期経営計画」について説明

**遠藤委員長：**

事務局の説明に対し、質問・意見等ありますか。

**松谷委員：**

指標1の本場年間売上が令和8年度に234億円との目標ですが、令和5年度から5.5%上昇と見込んで、その後減っていくということですが、その見通しについてももう少し詳しく教えてください。

また、だんだん売上が減っていくという見通しで、指標3の一般会計への繰出金2億円を確保していくことは大丈夫なのでしょうか。

**突田次長：**

上昇率は競輪最高会議で中期の目標として掲げた競輪業界全体の上昇率と同一としました。

**松谷委員：**

ただ単に全国の売上傾向に合わせたというだけでいいのかという若干の疑問と、売上が減っていくというわけで、繰出金を確保していく点が心配になるのですが。

**突田次長：**

令和8年度の売上は、今現在の売上よりも大きくなっているということが前提ですので、上昇率が減っているというだけで、売上自体の確保はできています。

**大石委員：**

コロナによる巣ごもりにより競輪業界でもネットによる売上が増えていて、このまま売上は増える想定しているが、ただ同じ上昇率5.5%のままではいかないだろうということですが。

**三浦委員：**

中期経営計画の2ページの競輪業界の売上推移をご覧いただきたいのですが、令和2年度が約7,500億円、令和3年度に約9,600億円となっていて、この時期の売上が非常に良かったわけですが。これは家にいる時間が長かったため、ネットでの売上も非常に良かったのですが、ただこのペースのまま売上が伸びていくことはなく、今後は減っていくという見込みでいます。

また静岡競輪場も来場者が減っているというのも事実で集客の努力もしているのですが、ネットで車券を購入するスタイルも定着していますので、全国の傾向を超えるような成果はなかなか望めないと考えています。

**大石委員：**

競輪の収益のうち、繰出金の2億円以外で競輪の施設改善の積み立てをして将来に備えています。今後も繰出しと積み立てのバランスを見ながら2億円を確保していきたいと思います。

**遠藤委員長：**

そのほかに質問・意見等ありますか。

質問・意見等も無いようですので、続きまして、次第7「その他」について事務局から説明をお願いします。

**突田次長：**

1点目はKEIRINグランプリシリーズの開催決定についてです。皆様のお力添えのおかげもあり、

令和6年12月28日(土)～30日(月)に静岡競輪場におきまして、3回目となりますKEIRINグランプリシリーズを開催することが決定いたしました。

初開催となった平成30年度のグランプリシリーズでは、入場者数が3日間で約3万5千人と大変盛り上がった開催になりました。2回目となった令和3年度の開催は、コロナ禍での開催となり入場制限をせざるを得ない状況でした。

令和6年度の開催を成功させ競輪事業を盛り上げていくとともに、静岡市のPRや市財政への貢献にも繋げていきたいと考えておりますので、運営協議会の皆様におきましても、ご支援のほどよろしく願いいたします。

2点目は視察についてです。今年度も他の競輪場の状況を見ていただく機会として視察を実施する予定です。視察先、日程等についてご意見がありましたらお聞かせください。

「その他」の説明は、以上でございます。

**遠藤委員長：**

ただいま事務局から説明がありましたが、視察については、私と委員長代理の加藤委員、事務局で検討させていただこうと思います。

**突田次長：**

それでは、視察につきましては、詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。

**遠藤委員長：**

それでは、ただいまの事務局の説明を含め、これまで全体をとおして、質問・意見等ありますか。

質問・意見等も無いようですので以上で本日の審議を終了します。

それでは事務局へお返しします。

**中西補佐：**

遠藤委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さまにおかれましても、ご審議ありがとうございました。

最後に事務連絡ですが、競輪開催日の入場方法につきましてお願いします。本日お配りしました通行証はご来場の際に必要となりますので必ずお持ち下さい。

以上で、本日はすべて終了となります。ありがとうございました。これもちまして、令和5年度第1回静岡市競輪運営協議会を閉会します。